



情緒ある雰囲気に整備された玄関付近



通路にも古瓦を活用



古瓦を再利用して整備された広場と保存修復した体験教室の建物

26 かわらミュージアム



DATA・BOARD 26

- ①滋賀県近江八幡市多賀町738番地2
- ②敷地面積：2,853㎡，建築面積：1,195㎡
- ③参加型ミュージアム
- ④瓦
- ⑤はちまん楽市



近江八幡市は、城下町として、近江商人の本拠である商業都市として繁栄してきたまちである。また、八幡瓦の生産地としても知られており、鬼瓦、瓦人形、瓦屋根の街並みが残り、歴史的景観にも恵まれている。こうした歴史的背景をもとに、地域づくり事業として市民からの提案を積み上げ開設したものが「かわらミュージアム」で、原料の粘土や製品の輸送路に使われた、八幡堀に面した瓦工場跡地に建設された。

この施設は、八幡瓦の伝統や瓦屋根の街並みの多様性を紹介するだけでなく、来館者が瓦を素材に製作を楽しむことができる瓦工房も設けられている。また、まちづくりや地域活動のための研修室・会議室なども備え、見る、参加する、作るというコンセプトのもとに、地域とともに歩み育っていく参加型の施設をめざしている。